

教育長 あいさつ



三次市教育委員会 教育長
松村 智由

平成27年12月に策定した「三次市教育大綱」に述べておりますように、「教育はひとつづくりであり、まちづくりの基盤」です。三次市では、次世代を担う子どもたちが夢と希望を抱き、健やかに成長できるまちづくりに取り組んでいます。

平成29年度の施策の重点方針で「本市を取り巻く厳しい社会情勢を乗り越え、幸せを実感しながら、住み続けたいまち」の実現に向けて、戦略的に施策を進めていくことで、今以上に「誇れるまち」を作りあげていくこととしています。そして「誇れるまち」とは、個性あふれる地域が沢山あり、すべての子どもが夢に向かって頑張ることができるまちです。

市内の全小中学校とともに、ふるさと三次を愛し誇りに思い、確かな学力、豊かな心、健やかな体のバランスのとれた子ども、将来の夢を実現できる子どもを育みます。特に人格形成の基礎である乳幼児期での学びは、極めて重要で、その後の人生に大きな影響を与えるものです。関係部局と教育委員会が連携し、乳幼児期から義務教育への円滑な移行を図りたいと思います。

三次市では「学力ぐんぐん事業」として、児童・生徒一人ひとりの基礎・基本の定着を図り、確かな学力をつけるため、引き続き市費採用教員を配置し、少人数学級編成や少人数習熟度別授業、複数の教員による指導を実施します。また、特別な配慮が必要な児童・生徒等へ学習支援を行うなど、学校教育の充実に向けた教育補助活動をきめ細やかに支援するため、「学校支援員配置事業」を拡大します。さらに学習環境整備として、年度内には市内全小中学校の普通教室にエアコンを設置します。

今年度は新たに、「みよし版わくわく体験活動推進事業」を実施し、市内での自然体験や地域の方との交流により故郷への誇りと愛着を醸成し、豊かな感性を持つ児童の育成や、特色ある学校づくりを推進します。

外国語教育については、「がんばる中学生の英語学習応援事業」として、英語検定料補助を4級受験者へも拡大します。「子ども夢・未来塾」では、イングリッシュキャンプやALT（外国語指導助手）の活用によってコミュニケーション能力の育成をさらに充実させていきます。

スポーツ・文化の分野では、子どもたちの豊かな心を培い、多様な個性を育むため、三次市民ホールきりりや奥田元宋・小由女美術館をはじめとする4つの美術館、みよし運動公園などを活用し、本物の芸術・文化・スポーツに触れる機会を提供していきます。

また、新たに史跡寺町廃寺跡整備事業として発掘調査を行うとともに、文化財読本作成事業を実施し地域の歴史・伝統・文化を育み、継承するまちづくりを進めます。

学校の特色・魅力ある教育により、行きたい、行かせたい学校づくりを推進してまいりますので、今年度も三次市の教育に対し皆様のご支援ご協力を賜りますよう、お願いします。